

アウェイツーリズムの今後の在り方

—Jリーグを事例にして—

新野優斗

本論文の研究テーマはサッカーにおけるアウェイツーリズムである。アウェイツーリズムをより地域振興へつなげるにはどのようにしたら良いかについて述べた。研究方法はアンケート調査を行い、その調査で得られた回答から問題点を考察し、アウェイツーリズムをより地域振興へつながっていかないという問題点への解決法を検討した。仮説としては観戦費用の低減、集客方法の改善をあげた。第一章では現在のサッカーにおけるアウェイ観戦状況や、アウェイツーリズムの現状について触れている。この章からサッカーのアウェイ観戦はホーム戦に比べ観戦率が低いことが分かった。第二章では、アンケート結果からわかった問題点とその問題の改善策について触れた。問題点は費用、熱量であった。これらに対しプロサッカークラブによる集客の成功事例などをもとに解決策を述べている。費用は既存の交通手段で費用を低減し、集客方法に関してはホームタウンの受容体性を整えることや、スタジアム周辺にサッカー以外のコンテンツを充実させることがあげられた。第三章ではサッカーでの集客が地域振興に対しどのように活かしていけるのかについて述べた。観戦リピーターの方が地域振興に貢献しているということがわかった。そのため、集客した人の中からより多くのリピーターを生み出すことが地域振興につながれるという仮説は証明された。